

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	①
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
2編1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み	1～12	①生物育成の技術とは何だろう ・生物育成の技術の目的を知ることができる。 ・食料の生産 ・材料・燃料の生産 ・健康・医療など ・自然環境の保全 ・生物育成の技術についてまとめることができる。 ・育成環境を調節する技術 ・生物の成長を管理する技術 ・生物の特徴を改良する技術 ・地域の特産物を調べ、どのような技術が用いられているか調べ、まとめることができる。 ②作物の育成環境を調節する技術 ・作物の育成環境を調節する技術について調べることができる。 ・光の管理 ・温度の管理 ・水分の管理 ・土の管理 など ・スプラウトの育成を行い、育成環境を調節する技術を体験することができる。 ③作物の成長を管理する技術 ・作物の成長を管理する技術について調べることができる。 ・作物の成長を管理する技術とその目的についてまとめることができる。 ④動物を育てる技術 ・人と動物との関わりについて知ることができる。 ・家畜としての動物の利用方法を調べることができる。 ・動物を健康に育てるための技術を調べることができる。		・生物を育てる技術の目的について理解している。(知) ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。(知) ・育成環境を工夫してスプラウトを育成することができる技能を身に付けている。(知) ・作物の成長を管理する技術について理解している。(知) ・動物を健康に育てるための技術について理解している。(知)		

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	②
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
2編2章 生物育成の技術による 問題解決		⑤水産生物を育てる技術 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について知ることができる。 ・水産生物を健康に育てるための技術を調べることができる。		・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。(知)		
		⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・食料の生産における問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめることができる。		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。(思) ・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。(態)		
		①問題を発見し、課題を設定しよう ・家庭、学校、地域、社会における生物育成の技術によって解決できる問題を見つけることができる。 ・発見した問題を解決するための課題を設定することができる。		・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)		
		②生物の育成計画を立てよう ・生物を育てる目的を考え、生物の成長に合わせた育成計画を立てることができる。 ・販売用、自家消費用、 ・食用、観賞用、加工用、 飼料用 など ・作物やその品種に応じた育て方を調べ、栽培計画表にまとめることができる。		・育成する作物に適した環境条件について考えている。(思) ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。(思)		

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	③
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
2編3章 社会の発展と生物育成の技術	13～14	③成長段階に合わせて適切に育成しよう ・安全に配慮し, 成長の状態に合わせて, 適切な管理作業を行うことができる。 (ミニトマトの場合) ・定植 ・支柱立て・誘引 ・かん水 ・元肥・追肥 ・摘芽・摘芯・受粉 ・健康管理, 病虫害駆除 ・収穫 ・管理作業の内容を, 栽培記録表にまとめることができる。		・植物の成長の状態に合わせて, 適切な管理作業を行う技能を身に付けている。(知)		
		④問題解決の評価, 改善・修正 ・生物育成の技術による問題解決を振り返り, 解決結果及び解決過程を評価し, 改善・修正する方法について考えることができる。		・育成の過程や問題解決の結果を評価し, 改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりしようとしている。(態)		
2編3章 社会の発展と生物育成の技術	13～14	①生物育成の技術の最適化 ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り, 社会の問題解決における最適化と比較することができる。 ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ・生物育成の技術のプラス面, マイナス面について考え, これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめることができる。		・生物育成の技術の概念について理解している。(知) ・生物育成の技術の最適化について考えている。(思)		
		②これからの生物育成の技術 ・持続可能な社会の構築のために, これからの生物育成の技術について考えることができる。		・これからの生物育成の技術について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。(態)		

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	④
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
3編1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	15～22	①エネルギー変換の技術とは何だろう ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べることができる。 ・エネルギー変換効率について知ることができる。 ②発電の仕組みと特徴 ・発電の仕組みと特徴についてまとめることができる。 ・さまざまな発電方法のプラス面, マイナス面について調べ, 適切な発電構成割合について自分なりに考えることができる。 ③電気を供給する仕組み ・電源の種類と特徴についてまとめることができる。 ・送電・配電について調べることができる。 ④電気回路について考えよう ・電気エネルギーを利用する仕組みを調べることができる。 ・電気回路について, 電気用図記号を用いた回路図で表すことができる。 ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ・電気を安全に使うための技術の工夫について調べ, まとめることができる。 ・漏電 ・感電 ・電気機器の安全な使い方について考えることができる。		・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。(知) ・発電の仕組みと特徴について理解している。(知) ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。(思) ・電源の種類と特徴や, 送電・配電の仕組みを理解している。(知) ・送電・配電の技術の工夫について考えている。(思) ・電気回路の仕組みについて理解している。(知) ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。(知) ・電気機器の安全な使い方について理解している。(知) ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。(思)		

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	⑤
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
		⑥運動エネルギーへの変換と利用 ・機械が運動を伝える仕組みについて調べることができる。 ・機械の運動の種類とエネルギー変換についてまとめることができる。 ⑦回転運動を伝える仕組み ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を調べることができる。 ・回転速度と回転力の関係を調べることができる。 ⑧機械が動く仕組み ・往復直線運動や揺動運動などを伝えるリンク装置やカム装置の仕組みを調べることができる。 ・流体を用いて動く機械や熱エネルギーで動く機械を調べることができる。 ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ・機械の共通部品について知ることができる。 ・機械を安全に利用するために保守点検が必要であることを知ることができる。 ・身近な機械の保守点検をすることができる。 ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・身近な製品の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめることができる。		・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。(知) ・運動の種類とエネルギー変換について理解している。(知) ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。(知) ・リンク機構やカム機構について理解している。(知) ・熱や水, 空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解している。(知) ・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。(知) ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。(思) ・主体的にエネルギー変換の技術について考え, 理解しようとしている。(態)		

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	⑥
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
3編2章 エネルギー変換の技術による問題解決	23～33	①問題を発見し、課題を設定しよう - 生活や社会における光、熱、動力などのエネルギー変換の技術によって解決できる問題を見つけることができる。 - 発見した問題を解決するための課題を設定することができる。 ②電気回路を設計・製作しよう - 設計要素を検討することができる。 - 電源 - 制御 - 負荷 - 構想をまとめ、製作に必要な図を描くことができる。 - プロトタイプ(試作)、シミュレーションを行うことができる。 - 目的の電気回路が決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行うことができる。 ③機構モデルを設計・製作しよう - 設計要素を検討することができる。 - 動力源 - 運動を伝える仕組み - 仕事をする仕組み - 構想をまとめ、製作に必要な図を描くことができる。 - プロトタイプ(試作)、シミュレーションを行うことができる。 - 目的の機構の動きが決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行うことができる。 ④問題解決の評価、改善・修正 - エネルギー変換の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考えることができる。		・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。(知) ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。(思) ・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。(知) ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。(思) ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。(態)		

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第2学年	⑦
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
3編3章 社会の発展とエネルギー変換の技術	34～ 35	①エネルギー変換の技術の最適化 ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り, 社会の問題解決における最適化と比較することができる。 ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ・エネルギー変換の技術のプラス面, マイナス面について考え, これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめることができる。 ②これからのエネルギー変換の技術 ・持続可能な社会の構築のために, これからのエネルギー変換の技術について考えることができる。		・エネルギー変換の技術の概念について理解している。(知) ・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。(思) ・これからのエネルギー変換の技術について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。(態)		